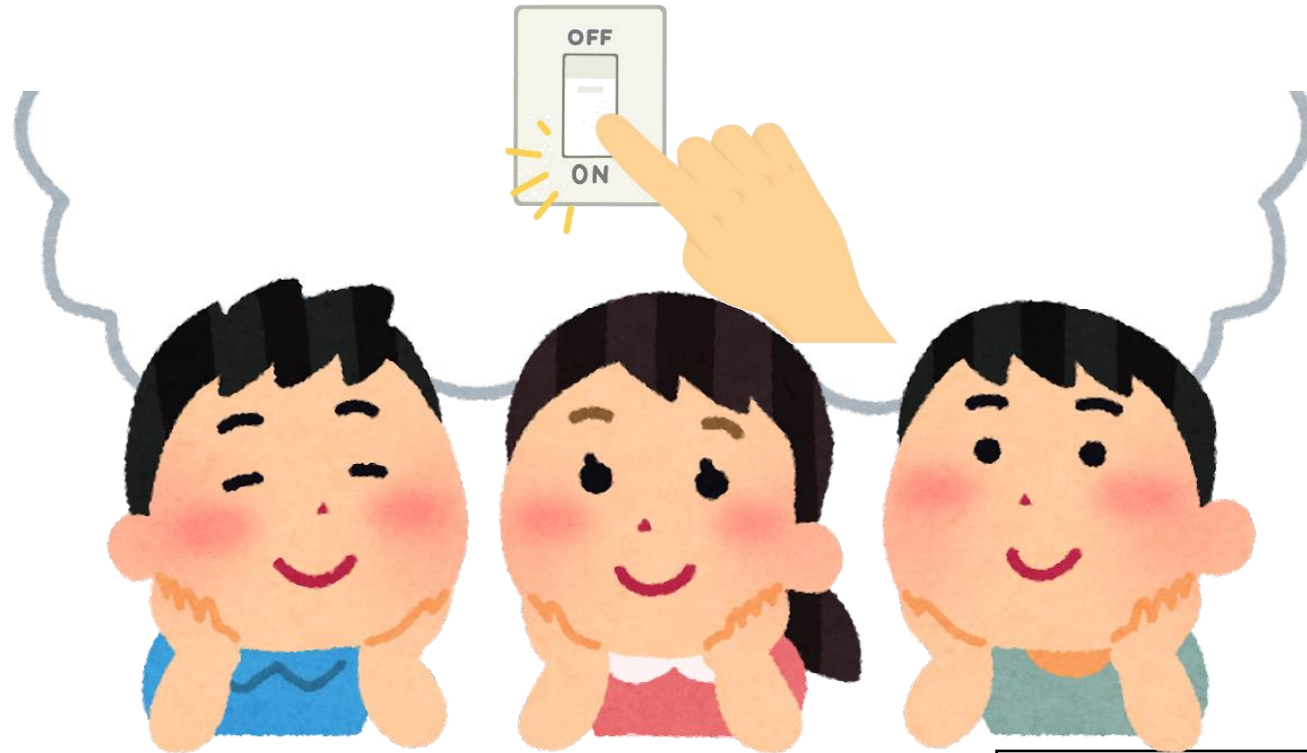


5年『想像力のスイッチを入れよう』
文章に浸り活用することを通して、筆者の工夫を実感することを目指して



2021.1.22

札幌市立開成小学校 瀧田 巧基

読むこと（説明文）部会では…

- ①単元の中で3つの観点（知・思・態）をどこでどのよう位置づけるか
- ②「指導と評価の一体化」を意識した授業づくり
- ③子どもが主体的に取り組む「考えの形成」と「共有」

5年生になってからの説明文単元では……。

今回の単元で大切なことは……。

普段の生活でも使うでしょ！

国語の大事さが分かるようになった！

文章構成の時間があまり……。

学習計画を立てていると、いける気がしてきた。

本文の書き抜かなきゃいけないところは……？

見分けて分類する活動は苦しい。

学ぶ必要感が高まったものの、意欲をなかなか引き出せなかった……

優れた説明文から、文章構成や叙述の工夫を
身に付けさせたい!

でも、直接的だと意欲が続かない……。
形式的だと活用できる力にならない……。

文章に浸り、活用して楽しむ中で、
実感を伴って身に付けられないか……？

『想像力のスイッチを入れよう』の目標

知識及び技能

○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。(知(1)力)

思考力、判断力、表現力等

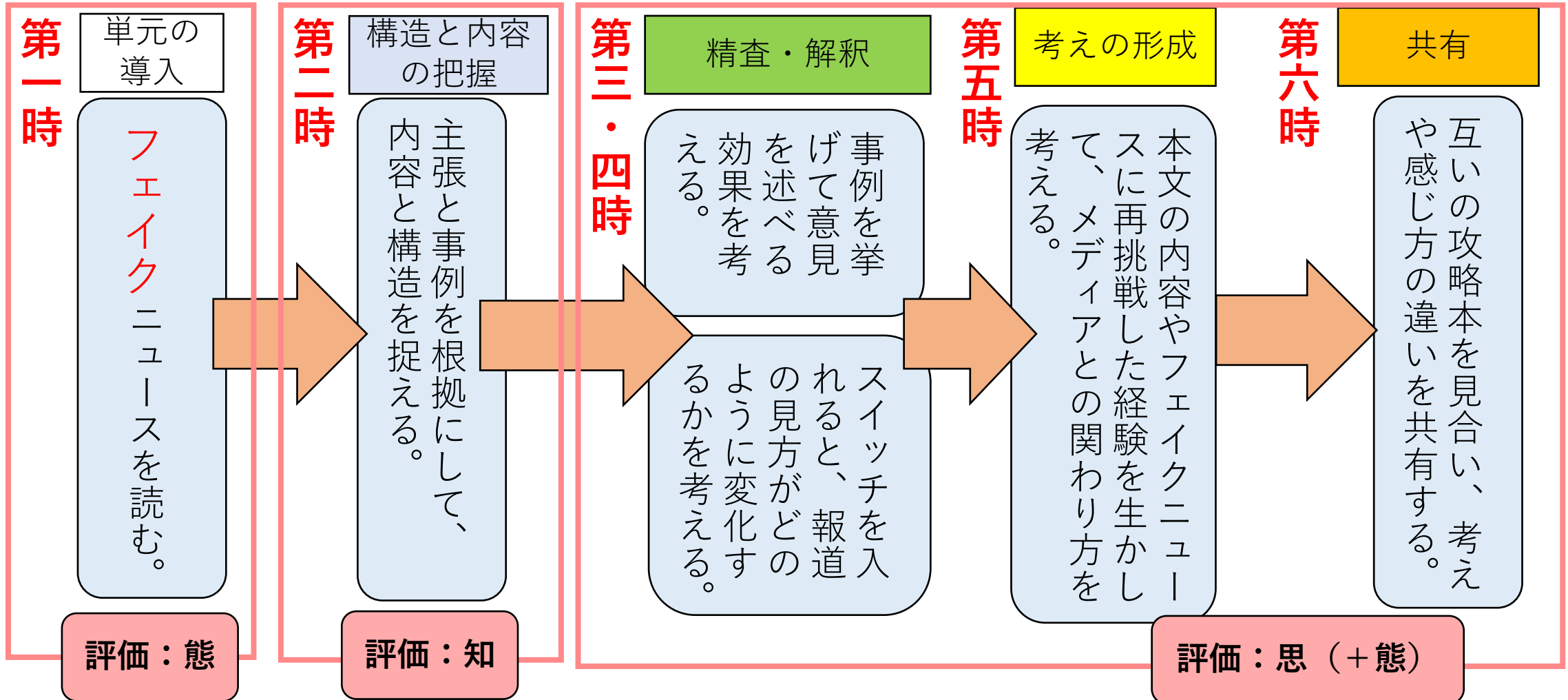
○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思C(1)力)
◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができるようにする。(思C(1)力)

学びに向かう力、人間性等

○粘り強く筆者の意見を読み取り、友達と交流して自分の考えをもととする態度を養う。

『想像力のスイッチを入れよう』（6時間単元）

「事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう」



本授業の主張

①本文に関わる意欲・必要感を生むための手立て：
フェイクニュースの設定

②主体性をもって、目的に応じて読むための手立て：
使うスイッチの選択

導入
+
精査・解釈後

実感を伴った
理解

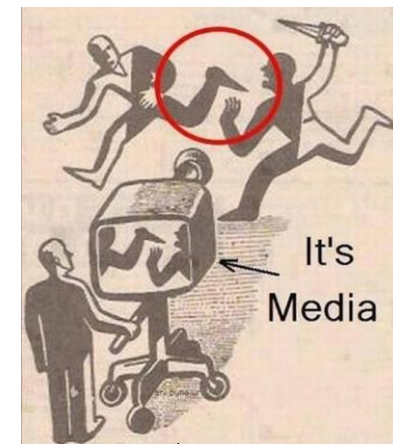
精査・解釈

考えの形成

第1時

単元の導入：報道の事実を見誤る経験を通して、メディアに対して見方を広げることへの必要感をもつ。

市内の店舗で食料品の売り切れが続出し、価格が大きく上がりそうだということが11月3日の調べで分かった。通常の値段の1・5倍にも上るとも言われている。先日の台風や赤潮による生産量の減少の影響がある中、予測されている直下型地震、未だ残るコロナ禍などへの備えとして、一部の消費者が買い占めを行ったために発生したかと考えられる。今後も買い占めが広がるとともに、衣料品や石けんなどの生活必需品も売り切れることが予想される。札幌市在住の主婦へのインタビューでは、「私たちも早く買わないと、家族の食べるものがなくなってしまう。」という様子が見られた。消費者の焦りも増しているようだ。



下村さんの考えとの違いには配慮した上で

こんなことが起きているの!?

早く買わなきゃ!

家族に知らせたら、すぐ買いに行くと思う。

ねたばらしをすると……

簡単に騙された!

思い込みは危険だ。

情報を正確に捉えられるようになりたい。

成果
本文への
意欲・
必要感
↑

第1時

単元の導入：報道の事実を見誤る経験を通して、メディアに対して見方を広げることへの必要感をもつ。



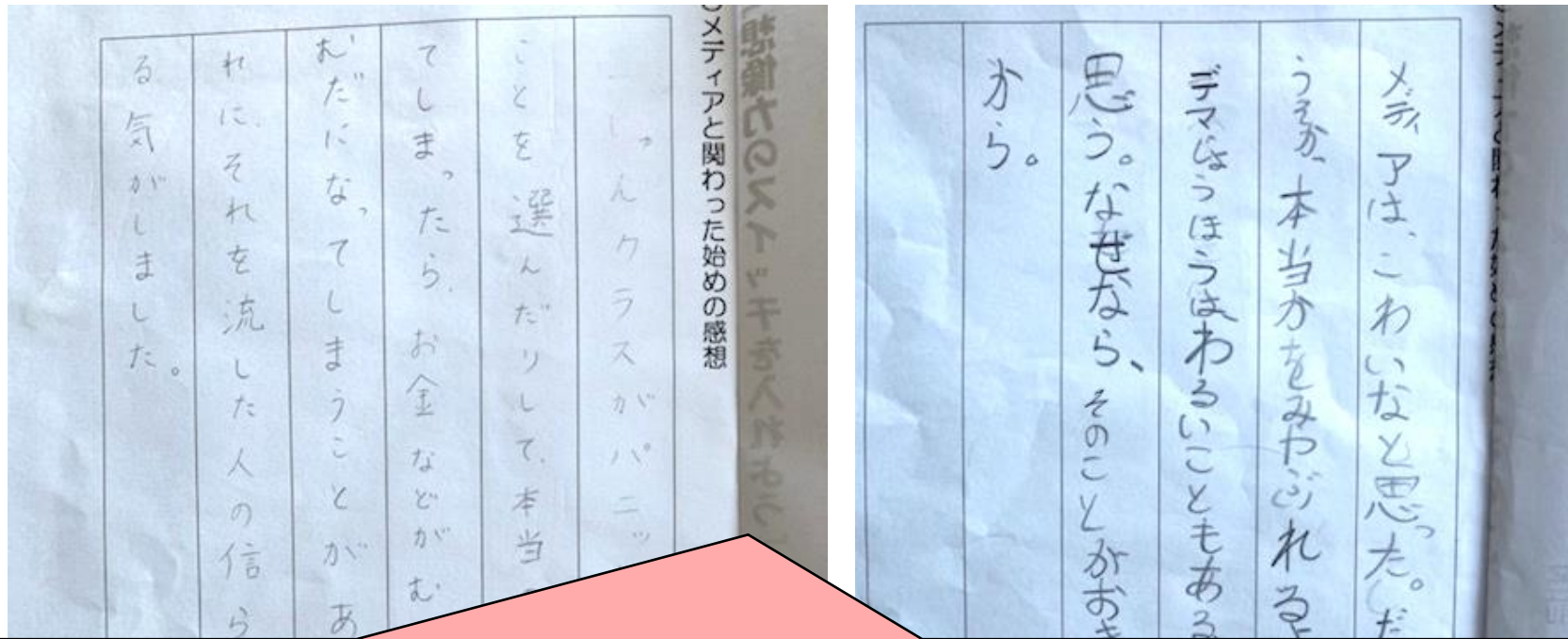
メディアを見破る方法を
集めた攻略本を作ろう！

相手意識
少し未来の
自分のため
に……！

目的意識
攻略本の中身を
アップデート
していく
ために……！

第1時

単元の導入：報道の事実を見誤る経験を通して、メディアに対して見方を広げることへの必要感をもつ。



課題
本文を読む前
だったので、
見通しをもつ
ことが難しい
様子でした。

○評価：態（主にワークシート）

A：自身の体験を踏まえ、筆者の意見を読み取る見通しを具体的にもとろうとしている。

B：今後の活動への期待感や見通しをもとろうとしている。

C：今後の活動への期待感も見通しももとろうとしていない。

Cへの手立て→次時の初めに、初発の感想を紹介して声を拾うことで、考えを広げる+思いを高められるようにした。

第2時

構造と内容の把握：主張と事例を根拠にして、内容と構造を捉える。

・構造自体に学びがある。
・内容を把握するためにも、構造を捉えることが大切だ。

意識のずれ

構造より早く内容を
読みたいなあ……。

意欲を引き出したいので、できるだけ形式的
にならないように……

「まずは『初め・中・終わり』から考えたい。今回はどう分かれるのだろうか？」
「筆者の主張をまず知らないといけない！」という声からスタート！

評価：態「既習を根拠にして、学習計画を立てているか。」（ノート・発表）

第2時

構造と内容の把握：主張と事例を根拠にして、内容と構造を捉える。



今回、『初め・中・終わり』に分けにくいぞ……？いきなり事例だ。

どのように文章が分かれるのだろうか？

主張は分かったから、分かれ目も分かった。だけど……

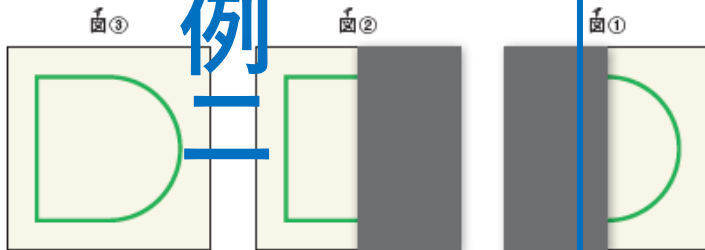
どうして初めに、2つも事例を用意したんだろう？

主張

このように思いこみを減らすため、わたしたちは、あたえられた情報を事実の全てだと受け止めるのではなく、頭の中、「想像力のスイッチ」を入れてみるのが大切なのである。

事例二

例えば、図①には、ある図形の右半分が見えている。あなたは、「これは、円の右半分だな」と思ったのではないだろうか。いっぽう、図②には、ある図形の左半分が見えている。今度は、「四角形の左半分だな」と思うだろう。しかし、実はどちらの全体図も同じ図③の形だとすると、図①や図②から推測した「円」や「四角形」は、切り取られた情報だけから全体を判断したことによる思いこみということになる。



の全ての面を伝えることはできない。それぞれのメディアは、大事だと思っ側面を切り取って、情報を伝えているのである。

学校のマラソン大会で、あなたが十位に入ったでしょう。あなたの、前回のマラソン大会での結果は、五位だったとする。順位が下がったあなたは、こう言うだろう。「前回より、五位も下がってしまいました」。

しかし、先生はこう言うかもしれない。「でも、三十秒もタイムがちぢまっていますよ」。

このように、同じ出来事でも、何を大事と思うかによって、発信する内容がずいぶんちがってくる。

事例一

想像力のスイッチを入れよう

下村 健一 文
タケウマ 絵

第2時

構造と内容の把握：主張と事例を根拠にして、内容と構造を捉える。

終わり	中	初め	備考
マラソン大会の 準備の状況	マラソン大会の 準備の状況	マラソン大会の 準備の状況	マラソン大会の 準備の状況

マラソン大会の
準備の状況

マラソン大会の準備の状況

マラソン大会の準備の状況

マラソン大会の準備の状況

友達の意見を聞いて分かったこと、考えたことは黒以外で追記

- 評価：技（主にワークシート・教科書）
 - A：主張や事例、段落間の関係性を根拠に、「初め・中・終わり」を捉えている。
 - B：主張や事例を根拠に、「初め・中・終わり」を捉えている。
 - C：「初め・中・終わり」を捉えていない。
- Cへの手立て→「まず、主張がどこにあるか。」「抽象・具体を述べている段落がどれか。」を考える支援をした。

第3時

精査・解釈：マラソンの事例と図形の事例における筆者の意見を押しさえ、読者に与える効果を話し合う。



どうして初めに、2つも事例を用意したんだろう？

気付いたことなど

身近にあることと例をつくる

と分かってもらいやすいので

はないかと考えた。(下村健一さん)

これが中心となる言葉なので

最初から人に説明したか、たと思おう。

自分の主張を読者にいかにして伝えたいか

すくすくするために例えを引出してあげよう

⑤があるからこそ、相像のスイッチを入

れることが大切なことか、わかる。

成果
話し合いの中で、事例を初めに設けることの考えは深まった。

改善の方策
児童による学習方法の多様さを尊重するために「気付いたこと」欄の括り方を広くしたが、何を書くかぼやけてしまった。そのため、取り上げる観点を絞るべきだった。

構成	④	③	②	①
事例の区切り				
マラソン大会				
の事例				
メディアの説明				
図形の思いこみの事例				
主張の減らすための				
気付いたことなど				

逆にはいけない
初め
マラソン大会の事例
メディアの説明
図形の思いこみの事例
主張の減らすための
全てが主張を支えている！
読み手が実際に、「同じ出来事でも、何を大事に思うかによって、発信する内容がずいぶんと変わる体験がてきる。見方が変わった！
身近な例で引き付ける。
「メディア」とは何かを先に伝える。
読み手が実際に思いこむ。
「相像力のスイッチ」の大切さ
強く伝える！
このままでは「全体」
「初め」



次はいよいよスイッチの詳しい説明だ！

第3.5時

精査・解釈：スイッチを入れることによって、報道の見方がどのように変化するかを考える。



まず、どんなスイッチが出てくるのだろうか？



スイッチが4つだと分かった。
次に、スイッチ1を理解して使いこなしてみよう。

中						
14	13	12	11	10	9	8
サッカー監督の事例						
中のまとめ	スイッチ四 「何がなされてい	スイッチ三 「他の見方もないかな。」	スイッチ二 「事実かな、印象	スイッチ一 「まだ分からな	事例の中に	
	(意見)	(報道) ← (意見)	(報道) ← (意見)	(報道) ← (意見)		
	「見えていないこと、伝えていないことも想像する。」	「事実に対して、色々な見方をする。」	「事実か、印象かも見分ける。事実で判断。」	「まず一度客観的につく。他のスイッチを使う。」		

Switch 1: 「まだ分からないよね。」

でも、他にも決めつけない方が
そもそもならないかも
やっぱりやめます
まだなるか分からない
他のニュースに
Aさんで頭いっぱい

「なりませう」 ↔ 「注目が集まっている」

「うう切り者」
ツイッターで拡散
デマ・フェイクになる
まだ「ではないか」

「うそつき」
ちがう人だったう
納得

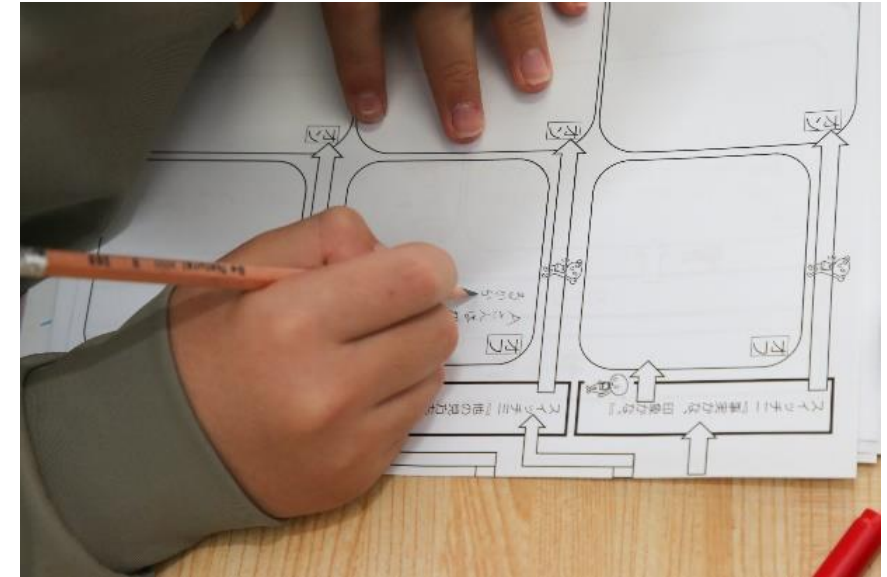
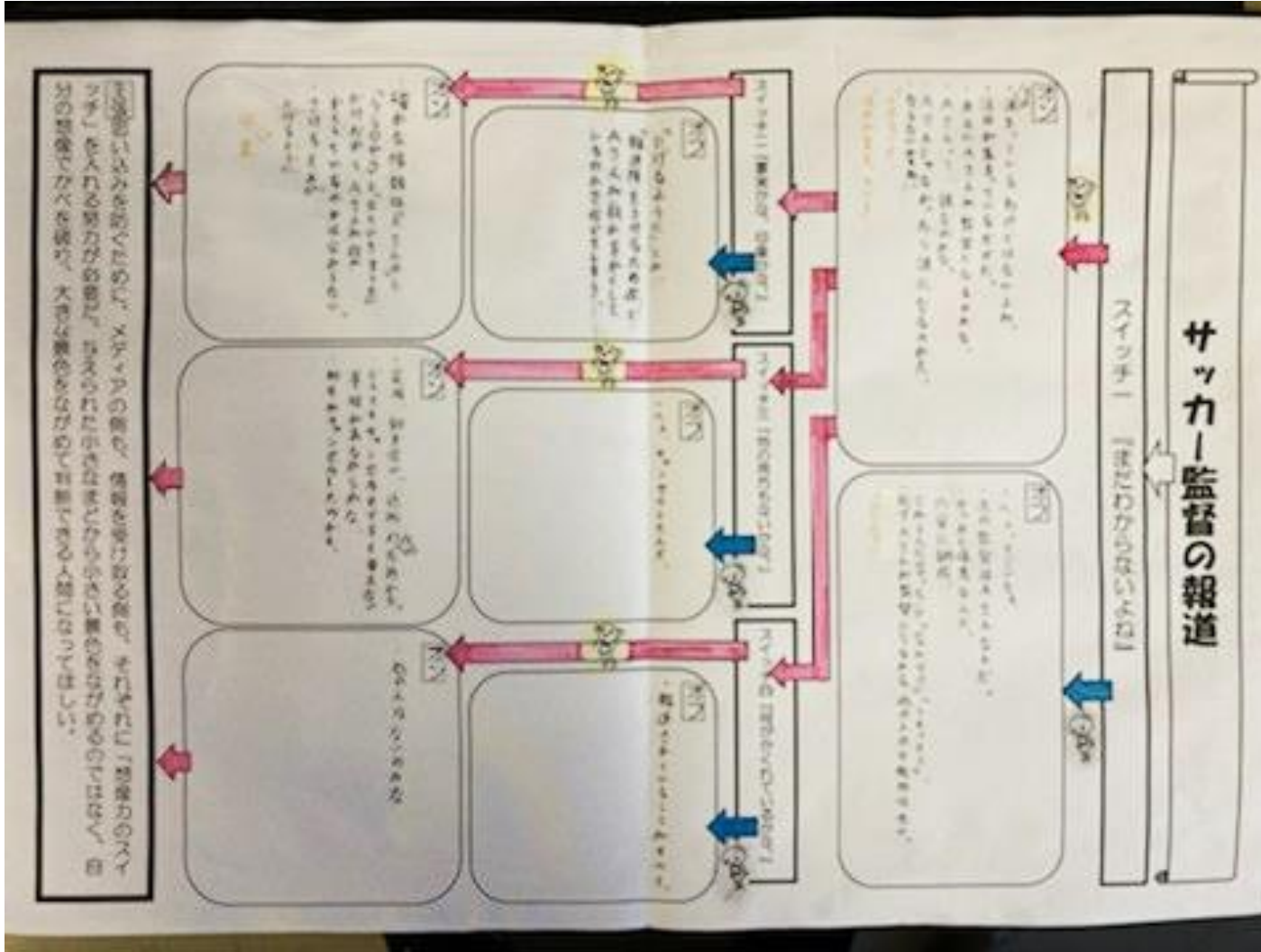
そうなんだ
Aさんすごいなく
サッカーできるんだ

第4時

精査・解釈：スイッチを入れることによって、報道の見方がどのように変化するかを考える。



残り3つのスイッチを使うと、報道の見方がどう変わるだろう？

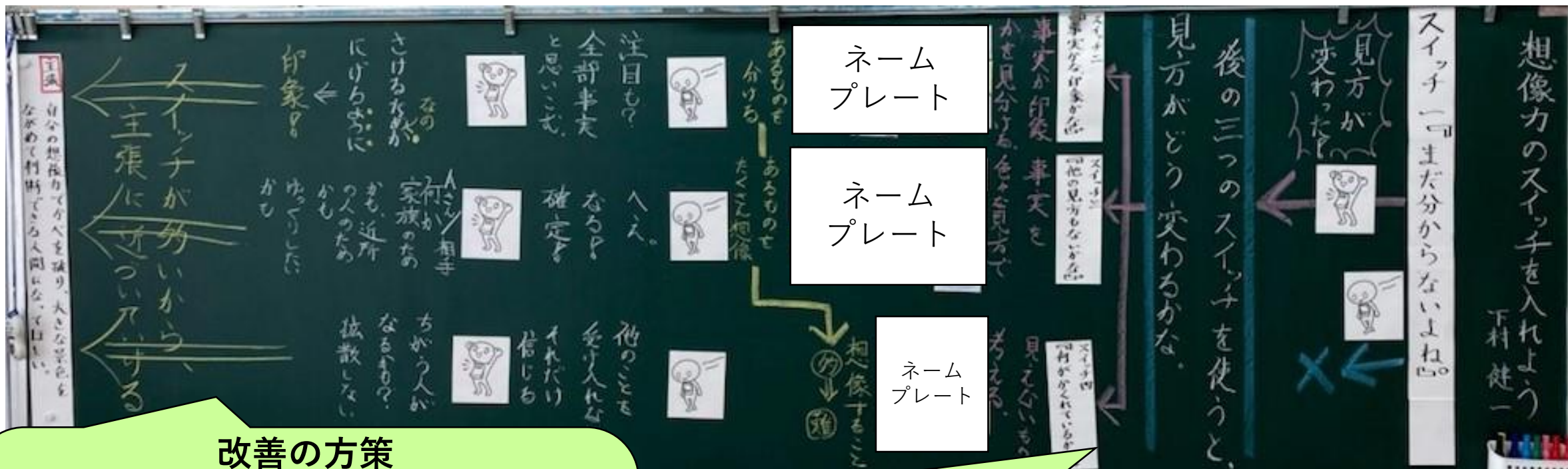


第4時

精査・解釈：スイッチを入れることによって、報道の見方がどのように変化するかを考える。



残り3つのスイッチを使うと、報道の見方がどう変わるだろう？



改善の方策

自己判断の場を生むためにスイッチを選択制としたが、4つのスイッチがあることのよさの実感は乏しかった。そのため、1つの文章と4つの文章を提示し、視覚的に比較するなどして実感を高めるべきだった。

改善の方策

共有に向けて、自分の担当としてスイッチを1つ選ぶことにしたが、必要感の薄さに子どもが戸惑っていた。そのため、「使いたいものを選ぶ。」として絞り込まず、読む目的を明確にするところをねらうべきだった。

第4時

精査・解釈：スイッチを入れることによって、報道の見方がどのように変化するかを考える。



最初に騙された、フェイクニュースに気づいたんだ！

スイッチ2
「事実かな、印象かな。」

スイッチ3
「他の見方もないかな。」

スイッチ4
「何がかくれているかな。」

発信者の印象だと分かるね。

鍵括弧で書かれているけど、言ってすらいないよ！

市内の

どうしてあのとき騙されたんだ！？

今なら、簡単に見破れるよ！

他の店を基準にすると？

インタビューは1人だけ？

売り上げを増やしたい人が意図的に発信した可能性も。

未だ残るコロナ禍などへの備えとして、一部の消費者が買い占めを行ったため、かと考えられる。

予想も、様子が見られた。消費も増えているようだ。

第5時

考えの形成：本文を読んだ経験とフェイクニュースに再挑戦した経験を生かして、メディアとの関わり方を考える。

○今後のメディアとの関わり方

前まで私はスイッチの入れ方を分かっていなかったから、メディアを見破ることをできなかったけど、今はスイッチを入れるポイントをつかめているから、メディアを見破れるようになった気がする。でも、ここからは最初のニュースの^{（とまどい）}だまされないように、スイッチを入れることをよく考えようと思いました。学習方法については、文章のつくり注目して、^{（重要）}事例を入れたらスイッチの入れ方がわかりにくいなどのスイッチを入れる上で、大切はことを文章のつくりは^{（重要）}場合によって変えた。次、説明文をみてきても、文章のつくりと筆者の言いたいことをつかろうと考える活動していきたいです。

○評価：思（主にワークシート）

「読むこと」において、

A：文章と経験に基づいて、メディアとの関わり方を具体的（場面・行動）にまとめている。

B：文章と経験に基づいて、メディアとの関わり方をまとめている。

C：文章や経験に基づいて、メディアとの関わり方をまとめていない。

課題

- ・フェイクニュースの印象が強く、本文についての記述が薄くなった。
- ・「書くこと」單元ではないため、書き方を指定せずに児童の率直な考えを知りたいと考えたが、引き出すためには書き方の指示が必要だった。

第6時

共有：互いの攻略本を見合い、考えや感じ方の違いを共有する。

○友達との共通点(赤)や、相違

メテアにだまされたいように
同じです、私は練習して習かん
です。か？、どんな努力をた

全部のスイッチを入れて
てみたら面白そうだ
ね。確かに場面事にス
イッチをかえるのもいい
と思う。

「よりよいものを目指して自分に吸収している。」「疑問をもったことについて、友達との共有によって解決している。」といった姿に態度面の価値付けをした。

課題

友達の考えを聞いて考えを高める姿や、最初の感想との変化をあまり引き出せなかった。

改善の方策

他者と関わり合うことの必然性を高めることが必要。

例

- ・攻略本の作成を、個人からグループにする。
- ・前々時で、自分の選んだスイッチの動機を強くもつことができるようにする。

◎評価：思（主にワークシート）

「読むこと」において、

A：自他の考えを比較し、自分の考えを再構築している。

B：相手の考えとの共通性に気付いたり、相違から新たな発見をしたりしている。

C：相手の考えの共通性に気付かず、相違から新たな発見もしていない。

Cへの手立て→「相手の意見を、自分だったらどんなところで生かせそう？」と相談した。

まとめ

成果

- 文章を読もうとする意欲・必要感の高まり ⇒ 主張①
- 「初め」の構成の工夫の実感 ⇒ 主張①
- 考えの形成の内容への実感 ⇒ 主張①

課題

- 文章を活用する単元構成にしたことによる、本文との関わりの薄さ ⇒ 主張①
- 他者との関わりの必要感・深まりを生む手立て ⇒ 主張②

主張① 本文に関わる意欲・必要感を生むための手立て：フェイクニュースの設定

主張② 主体性をもって、目的に応じて読むための手立て：使うスイッチの選択

ご覧いただき
ありがとうございました。



質疑応答もよろしく
お願いいたします。